

ら い 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 99 12月号

2013年12月1日 発行
たつの市立図書館

龍野図書館 TEL(0791)62-0469

新宮図書館 TEL(0791)75-3332

揖保川図書館 TEL(0791)72-7666

御津図書館 TEL(079)322-1007

URL <http://tatsulib.city.tatsuno.hyogo.jp/>



携帯専用サイトへは、
左のQRコードから
(URL:<http://tatsulib.city.tatsuno.hyogo.jp/m/>)

読書と私 No.91

「これからもずっと」 新宮町 吉村 恵美子

私は図書館が大好きです。館内を歩いてまわれば、いく先々の本棚で、それぞれ、いろんな世界に行くことができるからです。

毎週、娘と息子の3人で新宮図書館に寄るようになって、もう3年になります。以前は娘のスイミングの間に行っていましたが「私も寄りたい」と言ってからは、プール帰りのほんの20～30分ですが、閉館前の静かな図書館を楽しんでいます。

幼稚園年長の息子も、今は自分の気に入った本を1人であれこれ選んでいます。でもまだ小さかった時は、私が本を選んでいる間、退屈していることがありました。そんな時、司書の方が息子に絵本を読んで聞かせてくれて、その間私は心置きなくゆっくりすることができて本当に助かりました。

カウンターでは、借りようとしている本のシリーズや関連の本を紹介してもらったり、図書館主催のイベントへのお誘いなど、ちょっとした司書の方とのお話もとても楽しいひとときです。

図書館で出会う本や司書の方とのお話、そして参加させてもらうイベントを通して、わたしたち家族みんなの世界がいろいろと広がっていていることをとてもうれしく思っています。

日々の生活の中ではほんのひとときですが、週に1回、図書館で過ごす数十分は大切にしたい時間です。そして家事の合間や寝る前、図書館で借りてきた本を読む数分読書は心と体のリラックスのため、これからもずっと続けていきたいと思っています。



※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『サーカスは私の<大学>だった』 大島 幹雄 著 こぶし書房



著者は、大学院でロシア演劇の研究者を目指す中、腰かけとして入社した会社がきっかけで、サーカスの魅力に引き込まれ三十数年経った今もなお、その世界にどっぷり浸っている。本書では、サーカスのプロデュースに孤軍奮闘する著者の姿と、世界中で出会った個性豊かなサーカス芸人とその人生、秀逸な芸に隠された謎が述べられている。著者は、入社後いきなり「国立ポリショイ・サーカス団」に随行し、全国45都市を巡る旅を経験する。ロシア語もろくに話せない状況で、毎日大量の熊の餌を調達するために奔走したり、象を輸送する際に命の危険に晒されるなどの苦労を重ねながらもどこか幸福を感じさせる数々のエピソードが、ユーモアを交え紹介されている。象やシロクマ、ライオンなど動物百頭が揃う最大規模のサーカス団での経験を積み、サーカス団と共に旅をすることで始

まった仕事が、やがてサーカス芸人たちを日本に招聘するために世界中を回り、サーカス団を追いかける旅をすることになっていった。

著者はその一方で沢山の資料や人びとに出会い、サーカスの歴史についての研究も進めていく。

医者の子であった沢田豊というサーカス芸人を追跡した章では、浅草で見た「玉乗り」に魅せられた沢田がそのまま家出し16歳でロシアに渡りサーカス団に入団する。その後、彼は次々と勃発する戦争と政治に翻弄され数奇な運命を辿ることとなる。また、サーカス芸の章では、14世紀のアラブ人旅行家、イヴン・バットウータが記録に残し伝説となり、小説にもなった「インディアン・ロープ」というミステリアスな芸の謎を探っている。

サーカスは、古代から人間の身近に存在し、今もなお生き続けている。なぜ生き残ってきたのかその理由に迫る一冊である。

(龍野図書館 河部)

トピックス

心本祭 クリスマス人形劇



新宮図書館

とき 12月15日(日)
10:30~11:30
場所 新宮図書館 研修室
演目 もりのへなそうる ほか
演者 ぺこちゃん
定員 50名(3歳以上)
申込先 新宮図書館 ☎75-3332



揖保川図書館

とき 12月7日(土)
10:30~11:30
場所 アクアホール1階リハーサル室
演目 ぐりとぐらのおきやくさま ほか
演者 わたぐも
定員 60名(4歳以上)
申込先 揖保川図書館 ☎72-7666



〜〜 揖保川図書館からのお願い 〜

12月29日(日)~1月3日(金)までの間、返却ポストの使用は
ご遠慮ください。

※長期の休館中には、たくさんの本が返却ポストに入りきらずに
外にあふれます。本の傷みがはげしいためご迷惑をおかけしま
すが、ご理解とご協力をお願いします。

おすすめする子どもの本・92

『くんちゃんとふゆのパーティー』 ドロシー・マリノ作 ペンギン社

寒い季節になったので、くまのくんちゃん達は冬ごもりをしなければなりません。でも、くんちゃんは、雪を見てみたいので冬ごもりなんてしたくありませんでした。お父さんは、くんちゃんが雪を見られるようにと、冬ごもりをおあずけにしてくれました。初めて雪を見たくんちゃんは、走り回ったり、ゆきぐまを作ったり、大喜びです。

「ゆきって すてきだね。」と、木にとまっていた小鳥に話しかけると、小鳥は、「きれいだけど雪に覆われてしまうと食べ物が
見つからなくて
困ってしまう。」
と言いました。
くんちゃんは、
小鳥たちに食べ
物をあげようと
思いつき、家か
ら持ってきた食

べ物を木にくくりつけました。するとあちこちから小鳥が集まってきて、口々にお礼を言いました。そのうちに、うさぎやりすも大勢集まってきたので、くんちゃんは雪の上に食べ物をまいて、皆にパーティーをしてあげました。

今度は自分たちの番だ、と張り切ったくんちゃんは、おかあさんと一緒にもみの木を飾りつけました。クッキーやケーキを焼くと、パーティーの準備がととのいました。帰ってきたお父さんはびっくりして、とても喜びました。

皆でご飯を食べると、くんちゃんはたちまち眠くなって春までぐっすり眠りました。

いきいきとした線で描かれた絵から、初めて雪を見たくんちゃんの驚きや、冬の日を楽しむ様子が伝わってきます。

読んであげれば3歳くらいから。

(揖保川図書館 杉岡)

『銀河鉄道之夜 宮沢賢治童話集 II』

宮沢 賢治 作 春日部 たすく 画 岩波書店

ジョバンニは病気の母親との暮らしを支えるため、新聞配達と活字拾いの仕事をしながら学校へ通っています。漁に出たきり帰らない父親が、実は監獄に入れられているという町の噂を信じた同級生たちがジョバンニをからかいますが、カムパネルラだけは控えめな味方でした。

ケンタウル祭の夜、どの家もいちいの葉の玉やひのきの枝の灯で美しく飾り、子どもたちはからすうりの灯を持って澄み切った空気の中を笑いながら走っているのに、ジョバンニは病気の母親のために牛乳を取りに町へ出かけました。その途中、また父親のことでからかわれ、ジョバンニはやりきれなくなって丘へ行き身を投げ出していたのですが、気が付くとカムパネルラと2人、銀河を走る鉄道に乗っていました。窓の外は透き通って、幻燈のような野原と三

角標や、さそり座の火や、鷺や雁をとっては押し花のようにしてしまふ鳥捕りが見え、新世界交響曲が聞こ

えます。車掌が切符の点検に来たとき、切符を持っていないはずのジョバンニは青ざめますが、上着のポケットから三次空間の美しく立派な切符が出てきます。

宮沢賢治の銀河や自然への感性が余すところなく注ぎ込まれた透明感のある一篇。ほかに、「やまなし」「グスコブドリの伝記」など、合計12編が収められています。

小学4年生くらいから。

(新宮図書館 佐々木)



各館の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

館名	行事	対象(上段) ・ 時間(下段)	12月の予定
龍野図書館 TEL(0791) 62-0469	●えほんのじかん	0～3歳児、保護者 ----- 第2・第3土曜日(11時～11時20分)	14日・21日 『ジョーンとあひる』他
	●子どもの本を読む会	一般 *会場が変更になっています ----- 第2木曜日(10時～11時30分)	12日 詩を楽しむ
	読書会	一般 ----- 第2金曜日(10時～11時30分)	13日 『まだ生きている』佐藤愛子 著
新宮図書館 TEL(0791) 75-3332	●えほんのじかん	2～4歳児、保護者 ----- 第1・2月曜日(11時～11時20分)	2日・9日 『クリスマスのふしぎなはこ』他
	■おはなしのじかん	5歳児～ ----- 土曜日(11時～11時30分)	7日・14日・21日・28日 こぶじろう 『五分次郎』他
	写真展「新宮を走る蒸気機関車」 写真：長澤武氏 貨物操車場の全景や出発シーン、雪の中の機関車など新宮の成長と発展を支えた蒸気機関車の写真を展示します。 【展示期間】12月15日(日)まで 【撮影者による説明】12月8日(日)14時～14時30分		
揖保川図書館 TEL(0791) 72-7666	●えほんのじかん	3～5歳児、保護者 ----- 第2・第3土曜日(10時30分～10時50分)	14日・21日 『ぐりとぐらのおきやくさま』他
	■おはなしのじかん	小学生以上 ----- 第2・第3土曜日(11時～11時30分)	14日・21日 「やまなしもぎ」他
	読書会	一般 ----- 第3金曜日(10時～12時)	20日 野田焼きフィールドワーク
御津図書館 TEL(079) 322-1007	●えほんのじかん	0歳児～、保護者 ----- 第2・第3日曜日(11時～11時20分)	8日・15日 『あすはたのしいクリスマス』他
	読書会	一般 ----- 第1火曜日(13時30分～15時30分)	3日 『ドバーバばあ』中島久枝 著